

# よごうしょう がっこう 四郷小 学校だより

第 24 号  
令和3年 1月 29日

## 「学校アンケート」結果から…ご協力ありがとうございました

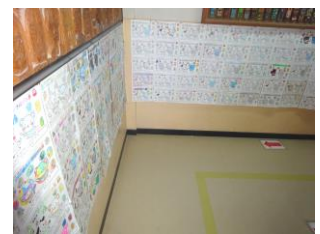
12月に回収しました学校アンケート（保護者・児童）の集約結果から、全職員で以下のように確認しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、これまでの取り組みに制限が付きましたが、学校としては、コロナ禍の中だからこそできることを精選し、創意工夫してきました。詳細については、来月の「第5回ころがねもち協議会」において、各担当より説明し、各委員様より具体的なご提言をいただく予定です。

○あいさつ…昨年度と比較し、すべての学年で肯定回答（いつもする・おおよそする）の割合が増え、全体的に自分からあいさつをしようとする意識がさらに育ってきました。代表委員会による毎日の「校内放送」での取り組みや、交通ボランティアさん（地区によっては「いつもしてくれるのでやりがいがある」「少ないので残念」との声があります）の日々の声掛け等の結果、自分からあいさつをすることの大切さに気づき、勇気を出して実践しようとする意識が行動に表れてきたといえます。職員間でも元気なあいさつに努め、お手本を示していきます。また、あいさつをしない子に対しては、粘り強く温かい声を掛けていきます。ご家庭でも引き続き、コミュニケーション力のもととなる日常のあいさつの励行をよろしく願います。

○きまり・約束を守る…昨年度と比較し、高学年の肯定回答が増加し、高学年は特に意識が高かったです。代表委員会の毎月の生活目標を設定し、代表委員会だよりを全教室に出向いて呼び掛けたり、「右側歩行矢印」の表示（写真）をしたり等の効果が見られます。高学年が「お手本的存在」とあるとの自覚が持ってきていると考えます。また、チャイムの合図・名札着用・トイレスリッパの整頓や正しい廊下歩行、そしてコロナ感染予防のための手洗い励行やマスク着用も含め、全体的に改善傾向が見られます。引き続き、きまりの必要性を考えさせ、学級・学年、そして全校放送等の場でタイムリーに指導していきます。先日、代表委員さんが「できたかな？生活チェック表」をていねいに作成し、取り組みを進めるにあたって校長室に届けてくれました。説明を聞いていて頼もしく感じました。リーダー性のある児童を増やしていきたいです。



○学力の定着…昨年度と比較し、全学年「よく分かる」「おおよそ分かる」という肯定回答が増加しました。昨年度より「家庭学習の手引き」を見直し、「プラス1」を導入しました。今後も授業中の「わかりません」という素直な言葉を大切にしながら、時間をかけて学力定着を図ります。年度末は学習のおさらい等ていねいに指導をしていきます。また昨年度より、朝の学習の時間に、認知機能トレーニング（コグトレ）を効果的に活用しています。ご家庭では、宿題を集中して確実にやりとげる習慣づくり（帰宅したらすぐに始める等）や環境づくり（テレビを消す、読書本を置く等）をお願いします。時折、ノートや筆箱チェックをしていただくとともに、提出物は決められた日に必ず提出できるように支援をお願いします。学校では、引き続き担任のコメントを工夫したり、良い内容のものはお手本として掲示したり、通信で紹介したりしながら、児童の意欲を引き出していきます。



○朝ごはん摂取・歯磨き習慣・体力の定着…ほぼできていますが、今年度もわずかに「ほとんど食べない」「1日に1回も磨いていない」児童がいます。長期休みに歯磨きカードを配付・回収・掲示の取り組み（写真）を通して習慣化を目指しています。虫歯等の治療率は学年によって差があります。時折歯の状態を確認していただき、虫歯の場合は放置せず、早めに治療願います。また、朝食摂取の重要性については食育や保健体育でも指導をしています。併せてお子さんの睡眠時間についてもご家庭で確認をお願いします。朝、遅れずに登校できるようにするためには、やはり「早寝・早起き・朝ごはん」が基本でしょう。高学年でもできる簡単な朝食の作り方も指導していきます。鉄棒や縄跳び等運動場で元気に遊ぶ姿が増えました。コロナ禍の中、「3密」防止しながら、体力向上を目指します。環境面でも、ボールやマット等の用具を新調・交換し、整えていきます。

○いじめについて…今年度も「いじめてもよい」と回答した児童は0%でした。「絶対にいけない」100%をめざし、行動に移せるよう道徳科で指導し、次年度も「人権強化週間」を設定・啓発していきます。また、毎学期のいじめ調査（全学級対象）、年2回の学級満足度調査（高学年対象）を有効に活用し、いじめの未然防止・早期解決に努めます。自分のことを大切に思える児童は増えてきましたが、家庭で何か気になるサインを見られましたら、早急に学校までご連絡願います。全国的に子どもがSNS上に誹謗中傷の書き込みをしたことが、いじめやトラブルに発展する事例が報告されています。お子さんのスマホ・パソコン使用時の約束事に、必ず追加してください。

○読書量について…昨年度と比較し、すべての学年の肯定回答は増えました。コロナ禍の影響もあると思いますが、図書ボランティアさん（写真）や教師の読み聞かせ、新刊図書等の整備と図書委員による新刊紹介の取り組み等を進めた結果だと考えます。これからも、新刊の蔵書数を増やし、よい本との出会いの場を大切にしていきます。ご家庭でも、親子読書や読み聞かせをお願いします。学校では、新聞記事を読んだり、記事を扱った教材も取り入れたりしていきます。



今年度から大きく変わった大学入試「大学入学共通テスト」について、昨年度までは知識で答える短い問題が多かったのに対し、今年は、資料を読んだ上で正解を導き出す「思考力・判断力・表現力」を測る問題が増えたとのことです。まさに「新学習指導要領」が求める子ども像と同じ傾向にあります。よって、引き続き子どもたちに問題文を読解する力を身に付けていきます。

○ゲーム時間について…昨年度までは高学年になるほど、メディアと接する時間がとても長くなる傾向がありましたが、今年度はコロナ禍の影響を受けたこともあってか、1日ゲーム・スマホ・テレビ等3時間以上の児童の割合が、低学年約10%、中学年約20%、高学年約18%となっています。ただし、新しい生活リズムを取り戻せるよう、また視力低下につながらないように、親子間で実態を把握していただき、メディア使用時の約束の徹底や確認・見直しをお願いします。親が知らないうちにお子さんが犯罪に巻き込まれたり、高額なお金を請求されたりしないように、また、誹謗中傷の書き込み等によるいじめ被害をうけていたり、加担していたりしないように気を付けましょう。

○総括…「学校は安心できる場所か」「安心して通っているか」に対し、児童・保護者とも肯定回答が8～9割と高い割合を占めています。特に高学年において「差別事象」を取り入れた社会科や人権教育、そしてコロナ禍だからこそできる人権教育の実践に取り組みました。その一方で、中学年の肯定回答の減少の要因については、改めて年度初めの「学級づくり」の重要性を再認識し、周囲から温かい言

ば せし ことば しぜん はつ ことば しぜん はつ いごこち がつきゅう がくねん がっこう ぜんしよくいん  
葉や静止する言葉が自然と発することのできる居心地のよい学級・学年・学校づくりをめざし、全職員  
が個に寄り添える安心な学校づくりを進めています。また、学級・学年・学校だよりのタイムリーな  
発行を心がけ、児童の現状等をお伝えし、取り組み紹介および保護者へのご協力を依頼するツール  
とします。

#### よねんせい にぶん いちせいじんしき 4年生・「二分の一成人式」おめでとうございます

きのう がつ にち げんめ たいくかん ねんせいこうれい にぶん いちせいじんしき かいさい  
昨日の1月28日(木)4限目に体育館にて、4年生恒例の「二分の一成人式」が開催されました。  
ころ な かんせんよぼうたいさく として、がっこう としては以下のようにたいおう  
コロナ感染予防対策として、学校としては以下のように対応しました。

- じどう てあら てってい ますく かんぜんちやくよう てきど かんかく  
児童の手洗い徹底とマスク完全着用と適度な間隔
- かいじょう ひろ たいくかん じょうじかんき  
会場を広い体育館とし、常時換気
- たいくかんうけつけばしょ ひせつしよくがたじどうけんおんき あるこーるしょうどくえき かんかくまーくせっち  
体育館受付場所に、非接触型自動検温器、アルコール消毒液、間隔マーク設置
- かんかく ほごしゃ せいげん じせんけんおん くつぶくろじさんいらい ようばい ぶいすせっち  
間隔をあけて保護者(2名までに制限・事前検温と靴袋持参依頼)用パイプ椅子設置

※ がつ にち すい ねんせい おく かい り はーさる こうかい どうよう たいおう かんぜんい か せい  
※2月24日(水)「6年生を送り会」リハーサル公開も同様の対応かつ完全入れ替え制とします。